

議 事 録【速報版】

令和5年度 第6回水道事業経営審議会			作成者	経営管理課 猪飼
日 時	令和5年12月8日(金) 9:30～11:00	場 所	研修センター	
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業経営審議会委員 ・総務部長、技術部長 ・経営管理課長、計画整備課長 ・事務局:経営管理課 			
<p>1 水道事業を後世に引き継ぐための水道料金の改定について</p> <p>・経営管理課より、水道料金の改定について説明後 審議会委員内での検討</p> <p>～説明・検討内容等～</p> <p>◎「資料1-1 今後の水道料金の改定について 討議結果」報告</p> <p>◎「資料1-2 料金表作成の基本的な考え方」</p> <p>Q① 算定要領1と3の評価で、「少量使用者には優しいが、水需要減少の影響を受けやすい」とはどのような影響のことか？</p> <p>A① 算定要領1や3のように従量料金の割合を大きくすると、人口減少や節水機器の普及で今後も水需要は減少していく中で、水道事業の収入としての減少割合が大きくなり、水道事業への影響が大きくなる。</p> <p>Q② 算定要領の採用は各自治体に任されているのか？ 新潟市の現行料金も算定要領に基づいてできているのか？</p> <p>A② 新潟市の現行料金は平成13年で、その時点では算定要領は無かったので、算定要領の考え方ではない。 算定要領は、各自治体の状況に応じて参考にしなさいという参考書のようなもので、かならず使用しなさいというものではない。</p> <p>◎「資料1-3 水道料金表(案)の確認」</p> <p>委員意見</p> <p>【料金表案1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本料金が高くなるが、それは施設への投資ということで、理解をしていただく方が良い。 ○ 人口減少、水需要の減少が続く中で、水道事業を継続していくためには、基本料金で収入を安定した方がよい。 但し、水道事業を継続していくために必要であることを、広報して理解していただく事が大切だと思う。 ○ 固定費はなるべく基本料金でまかなうほうがよい。 基本料金は高くなるが、その分、φ13 mm φ16 mmメーターは従量料金で家庭用配慮がなされているので良いと思う。 ○ 従量料金に頼ると、今後、人口減少などで水の使用量が減った時、またすぐに料金改定になる恐れがある。 <p>【料金表案2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本料金が高くなると、少量使用者への負担が大きくなる。 水道使用者の多くを占めるφ13 mmメーターは少量使用者が多いので、お客さまの負担を考えると、基本料金は少しでも安い方がよい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ φ16 mmメーターの基本料金激変緩和措置がなくなると、改定率が非常に大きくなるので、きちんと 				

説明して理解していただく事が大切である。

【討議結果】

- 基本の料金表は案1を採用する。
但し、 $\phi 20$ mmメーターについては、 $\phi 13$ mm $\phi 16$ mmメーター同様～10 m³までの従量料金を家庭用として配慮した料金表に変更した後、再度確認し、意見等があれば会長と相談のうえで、答申書(案)に盛り込む。

◎「資料1-4 次回(R6.1.12)の審議予定概要」

◎答申書(案)の附帯意見について

- 現在出ている附帯意見の確認

以 上